



ファームウェアバージョン :	V1.10.013		
Prom バージョン :	V1.00.002		
ハードウェアバージョン :	DGS-3000-10TC	A1	
	DGS-3000-26TC	A1	
発行日 :	2015/6/25		

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード	2
Web-UI を使用するアップグレード	5
追加機能 :	8
コマンドラインインタフェースの変更点 :	8
MIB または D-View の変更点 :	9
修正した問題 :	10
既知の問題 :	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：V1.10.013 Prom コード：V1.00.002	2015/6/25	DGS-3000-10TC DGS-3000-26TC	A1

注意：v1.01 から v1.10.013 へ直接アップグレードすることはできません。最初に v1.01 から v1.10.000 へのアップグレードを行ってください。

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web-UI](#) を使用してファームウェアのアップグレードを行うことができます。

CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**

2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RJ-45 シリアルケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※初期状態では管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。
何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。

4. ログイン後、下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr> src_file <path_filename 64> dest_file < path_filename 64> }]	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image <path_filename64> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
reboot	スイッチをリブートします。
show switch	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。
以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-3000-26TC:admin# download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3000_Run_1_10_013.had  
dest_file DGS3000_Run_1_10_013.had
```

```
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3000_Run_1_10_013.had dest_file  
DGS3000_Run_1_10_013.had
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

```
Success.
```

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DGS-3000-26TC:admin#config firmware image c:/DGS3000_Run_1_10_013.had boot_up
```

```
Command: config firmware image c:/DGS3000_Run_1_10_013.had boot_up
```

```
Success.
```

3.スイッチをリブートします。

```
DGS-3000-26TC:admin#reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

注意 : スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4.ファームウェアバージョンを確認します。

DGS-3000-26TC:admin#show switch

Command: show switch

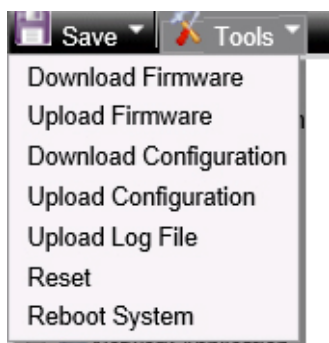
Device Type	: DGS-3000-26TC Gigabit Ethernet Switch
MAC Address	: 78-54-2E-B6-4D-E0
IP Address	: 10.90.90.90 (Manual)
VLAN Name	: default
Subnet Mask	: 255.0.0.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
Boot PROM Version	: Build 1.00.001
Firmware Version	: Build 1.10.013
Hardware Version	: A1
Serial Number	: RZ4F1D5000003
System Name	:
System Location	:
System Uptime	: 0 days, 0 hours, 1 minutes, 19 seconds
System Contact	:
Spanning Tree	: Disabled
GVRP	: Disabled
IGMP Snooping	: Disabled
MLD Snooping	: Disabled
VLAN Trunk	: Disabled
Telnet	: Enabled (TCP 23)
Web	: Enabled (TCP 80)
SNMP	: Disabled

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。

※管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていません。
「空白」でログインを行ってください。

5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware**の順にクリックします。



6. ファームウェアダウンロードの設定を行います。
ダウンロードの方法は、「TFTP」「FTP」「HTTP」のいずれかを選択できます。

<TFTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From TFTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

A screenshot of the 'Download Firmware' configuration page in the web-UI. It features three radio buttons for selecting the download method: 'Download Firmware From TFTP' (which is selected), 'Download Firmware From FTP', and 'Download Firmware From HTTP'. Below these, there are input fields for 'TFTP Server IP', 'Source File', and 'Destination File'. To the right of the 'TFTP Server IP' field, there are three radio buttons for selecting the protocol: 'IPv4' (selected), 'IPv6', and 'Domain Name'. A 'Download' button is located at the bottom right of the form.

TFTP Server IP : TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

<FTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From FTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

The screenshot shows a web form titled "Download Firmware". It has three radio buttons: "Download Firmware From TFTP", "Download Firmware From FTP" (which is selected), and "Download Firmware From HTTP". Below these are several input fields: "FTP Server IP:", "User Name:", "Password:", "Tcp Port (1-65535):", "Source File:", and "Destination File:". There is also a checkbox labeled "Boot Up" and a "Download" button at the bottom right.

FTP Server IP : FTP サーバの IP アドレスを入力します。

User Name : FTP サーバのユーザ名を入力します。

Password : FTP サーバのパスワードを入力します。

Tcp Port (1-65535) : TCP ポートの番号を入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのパスとファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

※ブートアップファイルに指定する場合は、「Boot Up」にチェックをいれます。

<HTTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From HTTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

The screenshot shows a web form titled "Download Firmware". It has three radio buttons: "Download Firmware From TFTP", "Download Firmware From FTP", and "Download Firmware From HTTP" (which is selected). Below these are two input fields: "Destination File:" and "Source File:". The "Source File:" field has a "参照..." (Browse...) button next to it. There is also a "Download" button at the bottom right.

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

Source File : 「ファイルを選択」をクリックして、ダウンロードするファームウェアを選択します。

7. 「Download」をクリックします。

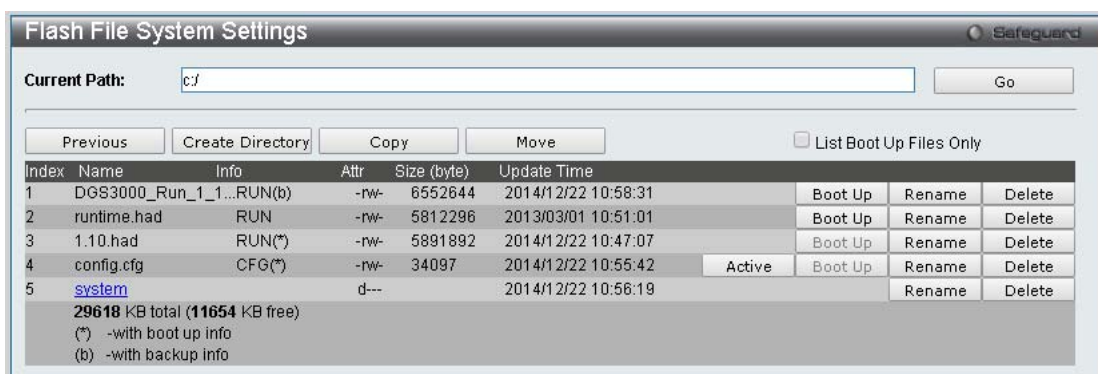
8. ステータス表示が 100%になり、ダウンロードが完了するまでお待ちください。

9. ダウンロードしたファームウェアを、次回起動時のブートアップファイルに指定します。
※FTP サーバ経由でダウンロードする際に、「Boot Up」にチェックをつけた場合は作業不要です。

- ① 「Network Application」 > 「Flash File System Settings」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Root」欄の「C:」をクリックします。
または「Current Path:」に「C:/」と入力→「Go」をクリックします。



- ③ ブートアップファイルに指定するファイルの「Boot Up」をクリックします。



※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

- ④ ブートファイルの指定に成功すると成功を通知する画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

10. スイッチのリポートを行います。

- ① 「Tools」 > 「Reboot System」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Do you want to save the settings ?」の「Yes」にチェックをいれ、「Reboot」をクリックします。

注意: スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

11. 再起動完了後にログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップデートされたことを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
V1.10.013	<ol style="list-style-type: none"> 以下の機能で IPv6 をサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> - DHCP サーバスクリーニング - DHCP リレー - ARP スプーフィング - FTP クライアント - JWAC 以下の機能で IPv6 をサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> - SIM - NTP - SMTP - NLB E-RPS でマルチプルリング/サブリングをサポート致しました。 RSPAN をサポート致しました。 Super VLAN をサポート致しました。 スタティックルートをサポート致しました。 輻輳制御をサポート致しました。 Web ベースアクセスコントロールをサポート致しました。 Compound 認証をサポート致しました。 Y.1731 OAM をサポート致しました。 RCP をサポート致しました。 DHCP サーバをサポート致しました。

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	追加機能
V1.10.013	特になし

MIB または D-View の変更点：

ファームウェアバージョン	M I B	変更点
V1.10.013	ERPS.mib	E-RPS でマルチプルリング/サブリングをサポート致しました。
	McastVLAN.mib	ISM VLANでMLDv1/v2スヌーピングをサポート致しました。
	SuperVLAN.mib	Super VLAN をサポート致しました。
	L3mgmtDGS3000-10TC.mib L3mgmtDGS3000-26TC.mib	スタティックルート、DHCPv6 クライアントをサポート致しました。
	sred.mib	輻輳制御をサポート致しました。
	NDSpoofingPrevention.mib	ARP スプーフィング防止で IPv6 をサポート致しました。
	wac.mib	Web ベースアクセスコントロールをサポート致しました。
	Jwac.mib	JWAC で IPv6 をサポート致しました。
	mba.mib	MAC ベースアクセスコントロールをサポート致しました。
	Auth.mib	Compound 認証をサポート致しました。
	CFMExtension.mib	Y.1731 Ethernet OAM をサポート致しました。
	DDM.mib	DDM の動作をアップデート致しました。
	DHCPv6_Relay.mib	DHCPv6 リレーエージェントをサポート致しました。
	IPv6StaticRoute.mib	IPv6 スタティックルートをサポート致しました。
	DHCPv6Server.mib DHCPv6Server.mib	DHCP サーバをサポート致しました。
	Filter.mib	DHCPv6 サーバスクリーニングをサポート致しました。
	RCP.mib	RCP をサポート致しました。
	smtp.mib	SMTP をサポート致しました。
	DHCPRelay.mib	DHCP リレーをサポート致しました。
	Genmgmt.mib	FTP クライアントで IPv6 をサポート致しました。
	SingleIP.mib	IPv6 仮想スタッキングをサポート致しました。

修正した問題：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
V1.10.013	<ol style="list-style-type: none"> 1G でリンクしている際に、DGS-3000-26TC の 10G ポートでパケットカウンタが正しく動作しない問題を修正致しました。 DHCP リレーが有効になっているときに DHCP サーバが別のサブネットに属していると、DHCP パケットがドロップされる問題を修正致しました。 DDM 機能が正しくない RX Power を表示する問題を修正致しました。 IP-MAC ポートバインディングが有効になっていると、ARP パケットがトラフィックセグメンテーション機能の動作に従わない問題を修正致しました。 ERPS 機能において、WebUI で一部の機能が設定できなかった問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題	対応策
V1.10.013	1. ファームウェアを v1.01 から v1.10.013 へアップグレードできない問題。	まず v1.10.00 へアップグレードしてから v1.10.013 へアップグレードしてください。
	2. ファームウェアを v1.01 から v1.10.013 へアップグレードすると、802.1X ポートベースモードを再設定する必要がある問題。	“config authentication ports <portlist> auth_mode port_based”を使用して再設定してください。
	3. ARP エントリが 1024 (ソフトウェアベース) から 458 (ハードウェアベース) に変更される問題。	なし
	4. Compound 認証と DHCP スヌーピングは同じポートでは動作できない問題。	なし

Copyright 2006–2015 D-link Japan K.K.